

①被害・点検状況

がけ崩れ1件(大阪府枚方市)



○施設点検

直轄：点検完了(異常なし)

2府3県：点検完了(異常なし)

○土砂災害危険箇所の緊急点検

大阪府：震度5強以上の危険箇所237箇所

6/21～22に緊急点検を実施※

(要配慮者利用施設関係の62箇所についても点検済)



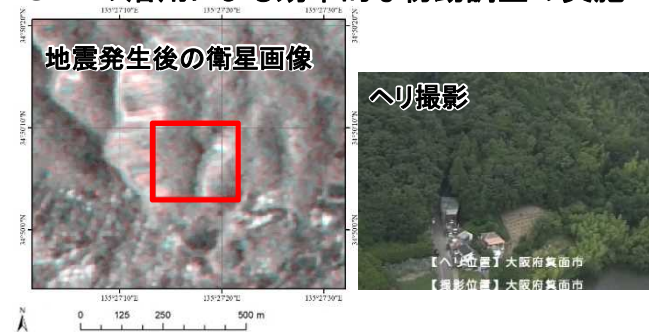
府職員との打合せ

点検状況

※枚方市のがけ崩れ1件は要警戒箇所とされた。

大阪府と近畿地方整備局が連携して点検を実施

【参考】 SARの活用による効率的な初動調査の実施



衛星だいち2号の画像解析により「崩壊のおそれ有」と判定された箇所をヘリで迅速に調査。(土砂災害は確認されなかった。)

○土砂災害専門家の派遣

大阪府枚方市、箕面市に土砂災害

専門家(TEC-FORCE高度技術指導班

:国総研1名、紀伊センター1名)を派遣(6/22)



現地調査状況

市との打ち合わせ

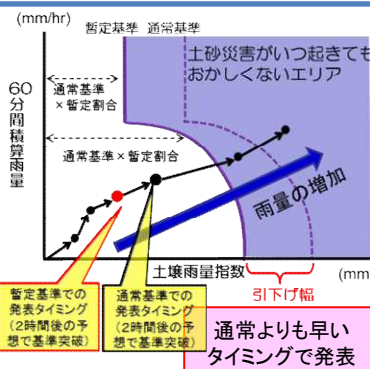
②土砂災害警戒情報の発表基準引き下げ

土砂災害警戒情報の発令基準を引き下げた

暫定基準による運用を実施(6/18 13:00～)

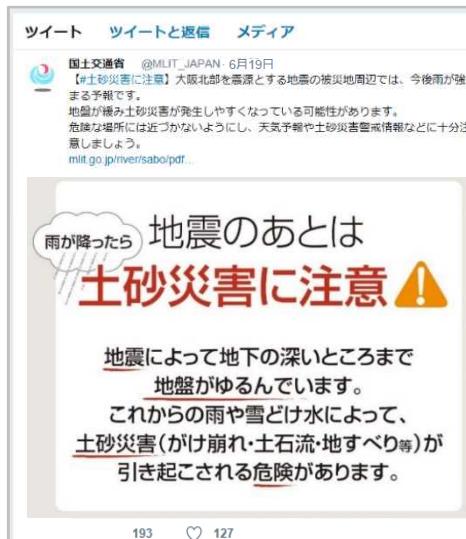
○通常の7割(震度6弱) 大阪府：高槻市ほか3市

○通常の8割(震度5強) 大阪府：豊中市ほか4市町
京都府：京都市ほか4市町

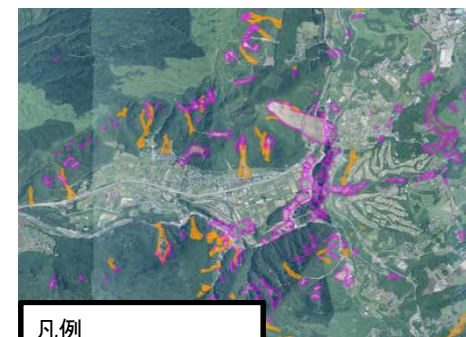


③SNSによる注意喚起

地震の後には
土砂災害に注意が必要



【参考】 平成28年 熊本地震では、地震後の降雨により約60件土砂災害が発生



凡例
赤色：地震による崩壊
黄色：地震後の降雨による崩壊
熊本地震における崩落
出典：砂防学会

大阪府北部を震源とする地震に伴う土砂災害危険箇所緊急点検の支援

- 6月21・22日に近畿地方整備局の砂防(六甲砂防、紀伊山系砂防)、河川(大和川、猪名川、木津川上流)5事務所職員によるテックフォース3班、延べ24名により大阪府の実施する緊急点検を支援。
- 緊急点検は、枚方市、箕面市、吹田市、豊中市の土砂災害危険箇所237箇所を対象に実施。
- 結果は、当面は巡視等の警戒の強化が必要な箇所(B)1箇所、特に変化は無く緊急度は低いが、降雨状況によっては注意する箇所(C)236箇所となり、府が各市に通知及び公表。

○大阪府緊急点検：6月21日～22日

		危険度判定※			
		A	B	C	計
大阪府	枚方市	0	1	84	85
	箕面市	0	0	29	29
	吹田市	0	0	76	76
	豊中市	0	0	47	47
	合計	0	1	236	237

※ 判定結果の危険度

A: 緊急的な対策が必要又は緊急避難体制の確保が必要な箇所

B: 当面は巡視等の警戒の強化が必要な箇所

C: 特に変化は無く緊急度は低いが、降雨状況によっては注意する箇所

○緊急点検状況



砂防1班(六甲砂防、大和川) 枚方市



砂防3班(紀伊山系、木津川上流) 枚方市



砂防2班(六甲砂防、猪名川) 箕面市

6月21日(木)～22日(金)
近畿地方整備局
TEC-FORCE
砂防 1～3班
【()は事務所名】

土砂災害専門家による現地調査 (大阪府枚方市、箕面市)

ひらかたし みのおし

平成30年6月18日に大阪府北部で発生した地震等によって、大阪府枚方市香里園桜木町、大阪府箕面市下止々呂美等で発生した土砂崩れに関して、大阪府からの要請を受け、警戒避難の考え方や応急・恒久対策の考え方について技術的助言を行うため、土砂災害専門家の現地調査を6月22日に実施。調査結果を踏まえ、府や枚方市、箕面市に対し、今後の対策等について助言。

土砂災害専門家:国土交通省 国土技術政策総合研究所 砂防研究室 主任研究官 木下 篤彦
近畿地方整備局 大規模土砂災害対策技術センター 技術係長 田中 健貴

崩壊地の様子 (枚方市香里園桜木町)



①枚方市香里園桜木町

【現象について】

- ・斜面上部に高さ3m程度の堆積岩が存在。風化が進んでおり、地震の揺れによって一部が崩壊。
- ・湧水やはらみだしは認められず、地すべり性の動きではないと考えられる。

【監視・警戒避難について】

- ・強い降雨がない限り、崩壊するおそれはないと考えられる。一方で余震が続くことも想定され、斜面の状態を確認する必要。

【対策について】

- ・斜面の高さも3m~4mのため残存している土砂を撤去するのが効率的。



現地調査の様子 (箕面市今宮)

②箕面市今宮

【現象について】

- ・斜面の中腹にはクラック等は見られない。また、斜面末端でははらみだしや湧水も確認されていないため、地すべり等ではなく、市道や住宅地の一部に応力がかかりクラック等が生じたと考えられる。

【警戒避難について】

- ・現地を見る限りはクラックが入っている家以外は直ちに影響が出るとは考えにくい。クラックが入っている家に限って避難指示を継続してはどうか。

③箕面市下止々呂美

【警戒避難について】

- ・現地を見る限りは直ちに崩壊する危険性は低いため、傾斜計などの観測機器を設置して斜面が動かないことを確認して避難指示を解除するのが良い。



木下主任研究官

田中係長

箕面市への報告の様子

※大規模土砂災害対策技術センター・・・大規模土砂災害への対応技術の向上を図ることを目的として平成26年度に設置。大規模土砂災害に対する調査研究・技術開発を行っている。